

非核平和展

2022年(令和4年)

7月26日(火)～7月31日(日)

9:30～20:00 (※土・日は17:00まで)

茨木市立中央図書館(茨木市畑田町1-51)

77年前の終戦を迎えるまで、日本は外国と戦争をしていました。日本の経験した決して風化させてはならない事実です。また、現在も世界各地で戦火が消えることはありません。過去の記憶を振り返るとともに、今も不安な日々を過ごす人々に思いを馳せ、「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」について、そして私たち一人ひとりに何ができるのかを考えます。

1 階エントランスホール

- ・「戦時下のいばらき」パネル展
- ・高校生が描いたヒロシマ「原爆の絵画展」
- ・戦意高揚の当時のポスター・雑誌展示
- ・沖縄戦収容遺品展示
- ・原爆被害者の会語り部DVD視聴

2 階ギャラリー

「境界線上のプラットフォーム」
～ウクライナ避難民たちのポートレート展～

2 階多目的室

- ・平和アニメ等の上映
- ・平和の絵本のよみきかせ
- ・戦争を考えるトークセッション等



ウクライナからポーランドへ
避難された親子(撮影当時)

小原一真さん 講演会

(茨木市在住の写真家)

ウクライナから避難されている方々の現実や思い
などをお話しいたします。

7月30日(土) 午後2時から(2階多目的室)

定員50名(申込先着順)

参加申込は、人権・男女共生課

(072-622-6613)へ電話でお申込みください。

主 催
協 力
問合先



茨木市

茨木市人権センター、茨木市原爆被害者の会
子どもたちと考える「戦争と平和」in茨木実行委員会
茨木市人権・男女共生課 電話072-622-6613(直通)

1 階エントランスホール

「戦時下のいばらき」パネル展

私たちのまち・茨木も戦争による被害を受けました。戦時下の茨木の様子や空襲による被害、市民の体験談などを紹介します。

高校生が描いたヒロシマ「原爆の絵画展」

原子爆弾が広島に投下された当時の悲惨な状況を、高校生が被爆体験証言者の記憶や思いに寄り添い、描いた絵画を展示します。



「戦時下のいばらき」パネル



高校生が、聞き取り描いた絵画

戦意高揚の当時のポスター・雑誌展示

日中戦争以来、国内では戦意高揚・軍備増強のため多くのポスター等が発行されました。耐乏生活等を強いたポスターなどを展示します。

沖縄戦収容遺品展示

凄惨な地上戦があった沖縄でボランティアにより収容された遺品を展示します。

原爆被害者の会 語り部DVD視聴

「茨木市原爆被害者の会」の語り部による非核平和の語りをDVD映像で視聴できます。



戦意高揚の当時のポスター・雑誌展示

2 階ギャラリー

「境界線上のプラットフォーム」～ウクライナ避難民たちのポートレート展～（小原一真さん撮影）

小原さんは、2022年3月中旬、ポーランドへ渡り、戦禍を逃れてきた人たちのインタビューや撮影を行いました。そこで出会ったのは、「感情のプラットフォーム（よりどころ）」を失った人たちでした。

2 階多目的室

日時	午前10時45分から	午後1時30分から
7/27 (水)	平和アニメ 「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」(45分) プロパガンダアニメ(11時40分から、20分)	
7/28 (木)	平和アニメ 「ヒロシマに一番電車が走った」(32分) プロパガンダアニメ(11時40分から、20分)	
7/29 (金)	平和アニメ 「焼跡のお菓子の木」(45分) プロパガンダアニメ(11時40分から、20分)	平和の絵本のよみかき 「ムツとわたし」、「へいわってすてきだね」 佐坂美香さん他
7/30 (土)	平和アニメ 「ぼくの防空壕」(45分) プロパガンダアニメ(11時40分から、20分)	小原一真さん講演会(午後2時から) 「境界線上のプラットフォーム」 ウクライナ避難民たちのポートレート
7/31 (日)	平和アニメ 「凧になったお母さん」(45分) プロパガンダアニメ(11時40分から、20分)	「戦争を考えるトークセッション」 ・プロパガンダの狙い(河田隆史さん) ・被爆者に聞き絵画にしたこと(石田奈々子さん、広島市立基町高校卒業生) ・沖縄戦、遺骨収容のこと(西尾慧吾さん 大学生)

(プロパガンダアニメは、京都おもちゃ映画ミュージアム所蔵)

中央図書館における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・かぜ症状など体調不良の方は来館の自粛をお願いします。
- ・入館、資料利用前後等は、手洗いや手指を消毒してください。
- ・2メートルの距離がとれない場合や、会話をされる際には、マスクの着用にご協力ください。



アクセス

阪急茨木駅・JR茨木駅から阪急バス(82系統、83系統)「中央図書館前」バス停下車
※中河原南口行きは、中央図書館前を通らない便もありますので、乗車前にご確認ください。
※ご来場には徒歩、自転車、公共交通機関をご利用ください。

【注意】 新型コロナウイルス感染状況によっては、変更・中止になる場合があります。